

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 22 年度第 2 回スポーツ振興審議会
開催日時	平成 22 年 12 月 3 日(金) 15 時 00 分～16 時 40 分
開催場所	高松市役所 11 階 113 会議室
議 題	スポーツ指導者の充実・活用および資質向上について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	野崎会長，城門副会長，長谷川副会長，穴吹委員，岡田委員，田中委員，花房委員，七條委員，松本委員，山下委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課および 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

会議経過および会議結果

【会議の経過】

(1) 開会

(2) 野崎会長あいさつ

(3) 事務局から会議成立の報告の後，会議の公開について委員会に諮り，審議した結果，公開とすることを決定した。

(4) 議案の「スポーツ指導者の充実・活用および資質向上について」を栗田課長から説明。

(5) 報告事項の「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備について」を栗田課長から説明。

委員から意見を聴取した。

項目ごとの主な意見，質疑等は次のとおり。

議 題

議 案

スポーツ指導者の充実・活用および資質向上について

会議経過および会議結果

【A 委員】

今回の審議で最終案を出すのではなく、いろいろな意見をいただきながら理解を深め今後の方向性を検討したいと思う。

私自身の意見としては、現在のリーダーバンクは作られてから15年が経過し、制度を廃止した市もあり、継続している市でも制度が機能していないようであり、合理的ではないので廃止をしたほうが良いと思う。

香川県のシステムは、今の時代を反映し、インターネットで検索ができ、内容も本市の制度よりも充実している。また、本市の教育委員会にも指導者派遣の類似した制度がある。

今の制度をPR、周知したとしても、はたしてリーダーバンクの制度を利用するだろうか。「指導者を紹介する」というよりも、「キンボールというおもしろい種目がある。指導者が必要なら、こんな人がいる」といった紹介の方が制度を利用するのではないか。

高松市スポーツ振興基本計画で、週に1回以上スポーツする成人の割合を29%から40%にすることを目標としているが、リーダーバンクの制度があるだけでは駄目であり、廃止した後、どのようにすれば目標に近づくとすることができるのかを考えるべきである。

【B 委員】

スポーツをする人を増やすことが目標であるが、運動をしたい人は、運動を始めている。運動をしたくない人をいかに運動させるかが課題である。運動をしたくない人をどう引っ張るか、30歳代から50歳代の仕事で時間の作れない人たちに運動させるかを考えなければならない。

【C 委員】

リーダーバンク制度を利用しなくても、地域に根ざした4団体（地区体協、市体協、体力づくり、スポ少）があり、指導者を見つけることが可能である。また、スポーツの定義も広域にわたり、フィッシングもスポーツに入るようになった。

【A 委員】

運動していない人をいかに運動させるかが課題である。そのために、金額の安いシステムが望まれる。

【D 委員】

香川県のシステムに登録しているが、毎月アクセスランキングが届き、アクセスのあった件数が分かり、やる気にもつながる。リーダーバンクの管理者もどんどんデータを開示していけばよいと思う。また、リーダーバンクを廃止するとしても、4団体に所属していない指導者もあり、その指導者が活用できる場がほしいので一部を残しておけばどうか。

会議経過および会議結果

【A 委員】

こういう指導者を登録しています，という情報を流すだけでは意味が無い。こういう団体があり，こういう活動をしていますという情報を流し，興味をもった人が情報を得られるようにする方が大切である。

【E 委員】

スポーツリーダーバンクという名前の響きが重い。市の教育委員会も類似した制度をしている。県のシステム利用者が多いというが，その内，市民がどのくらい利用しているのか。県のシステムでも利用が少ないとしたら，リーダーバンクの役割は終了したと言えるのではないか。また，リーダーバンクに体育指導委員が載っているが，体育指導委員の資質向上と見直しという当初の役割を果たし，その役目を終えたと思う。

また，平成20，21年度はリーダーバンクの利用件数は0件で，リーダーバンク制度を利用しなくても，各団体は研修会や講習会を開くなどして活発に活動をしていることから，リーダーバンクの必要性を感じられない。現在のリーダーバンク制度を廃止することには賛成であるが，ただ廃止するだけではなく，レクリエーションや福祉関係を含めた制度に見直すこともできるし，インターネットを利用しない人の受け皿を用意する必要もある。

【F 委員】

リーダーバンクは競技スポーツ中心で，例えば，年配者がウォーキングをしようと思っても指導者が載っていない。競技種目をした人は，直接団体に申し込むため，リーダーバンクの必要がない。現在の制度を廃止するか，継続するにしても見直しが必要である。

【G 委員】

競技団体の指導者を中学校に派遣することは可能か。専門の指導者がいないため，中学校に小学校でやっていた種目の部活がない場合があり，他の種目に選手が流れていってしまう。

【事務局】

武道では，すでに中学校の部活動に外部指導者を取り入れている。高松市スポーツ振興基本計画でも，学校の部活動を充実させるため，外部指導者の活用を図るとあるが，競技団体から指導者を推薦してもらうのか，リーダーバンクの制度を使うのかは未定である。部活動となれば，単発ではなく，継続的に指導できる人材が必要である。

会議経過および会議結果

【G 委員】

専門家がずっといなくても、練習メニューとかを決めていれば学校の先生でも対応ができる。スポ少などの指導者は、ボランティアでやっている人が多い。

【B 委員】

勝つ事だけに固執する指導者よりも、競技を好きで楽しんでいる指導者に教わった方が子どもも幸せである。

【A 委員】

子どものスポーツ環境から、競技スポーツや健康増進のため生涯スポーツまで、行政として幅広い視野で考えることが必要である。

【H 委員】

アスレチックトレーナーを紹介する機会が乏しく、リーダーバンクにも項目がない。制度を継続するのなら項目を作って欲しい。リーダーバンクがなくなっても、広報などでアスレチックトレーナーの PR をして、どんどん利用して欲しいと思う。

【A 委員】

今の時代、行政がすべてお膳立てするのではなく、それぞれの団体がお互いに協力し合い、必要とする関係が求められている。それぞれの団体が一生懸命活動し、つながりを持ち、行政がサポートし、高松が盛り上がっていくような方向に持っていけたらと思う。本日も、たくさん意見をいただきありがとうございました。

報告事項

南部地域の核となる特色あるスポーツ施設整備について
質疑なし